

医療情報の研究利用について

| | |
|----------------------|--|
| 研究の課題名 | 当院における「スマートジーンH.pylori G」を用いたH.pylori 診断と、クラリスロマイシン耐性H.pylori に対する除菌療法の実際 |
| 研究の責任者(当院) | 消化器内科 医長 伊藤 亮 |
| 研究の対象者 | 当院で下記期間内に上部消化管内視鏡検査と、胃内視鏡廃液を用いた「スマートジーンH.pylori G」検査を受けられた方 |
| 研究の目的 | H.pylori に対する感染診断法には、迅速ウレアーゼ試験、尿素呼気試験、抗体測定、便中抗原測定などがあるが、2022年11月に保険収載された「スマートジーンH.pylori G」は胃内視鏡廃液中のH.pylori 核酸、及びクラリスロマイシン耐性遺伝子変異を検出することができ、クラリスロマイシン耐性率が上昇している昨今、その有用性が注目されている。今回、当院におけるスマートジーンを用いたH.pylori 診断率と、その後の除菌治療の成績を調査することを目的とした。 |
| 調査対象データ該当期間 | 2023年5月～2023年10月 |
| 研究の方法 (使用する情報・試料) | 電子カルテ内から年齢・性別・検査に至るまでの経過・内視鏡所見・H.pylori の有無・遺伝子変異の有無・除菌治療法などの情報を取得し、統計学的に解析する。 |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません |
| お問い合わせ先 | 代表電話:0134-24-0325 倫理委員会事務局 |
| 備考 | 研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。 |

